

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 1 区分

【発行日】平成27年9月10日(2015.9.10)

【公開番号】特開2015-14586(P2015-14586A)

【公開日】平成27年1月22日(2015.1.22)

【年通号数】公開・登録公報2015-005

【出願番号】特願2013-225557(P2013-225557)

【国際特許分類】

G 0 1 N 25/20 (2006.01)

【 F I 】

G 0 1 N 25/20 Z

【手続補正書】

【提出日】平成27年7月28日(2015.7.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1】

熱可塑性樹脂からなる絶縁基材(100)に厚さ方向に貫通する複数の第1、第2ピアホール(101、102)が形成されていると共に、前記第1、第2ピアホールに互いに異なる金属で形成された第1、第2層間接続部材(130、140)が埋め込まれており、前記第1、第2層間接続部材が交互に直列接続された熱流束センサ(10)と、

車両に搭載された発熱体(30)の異常判定を行う制御部(20)と、を備え、

前記第1、第2層間接続部材を形成する前記金属の少なくとも一方は、複数の金属原子が当該金属原子の結晶構造を維持した状態で固相焼結された焼結合金であり、

前記熱流束センサは、前記発熱体に備えられて前記発熱体と外気との間の熱流束に応じたセンサ信号を出力し、

前記制御部は、前記センサ信号に基づき、前記発熱体と前記外気との間の熱流束が所定の範囲内から外れているとき、前記発熱体が異常であると判定することを特徴とする車両用の異常判定装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

すなわち、第1、第2層間接続部材を形成する金属の少なくとも一方は、複数の金属原子が当該金属原子の結晶構造を維持した状態で固相焼結された焼結合金であり、熱流束センサは、発熱体に備えられて発熱体と外気との間の熱流束に応じたセンサ信号を出力し、制御部は、センサ信号に基づき、発熱体と外気との間の熱流束が所定の範囲内から外れているとき、発熱体が異常であると判定する。